

外部評価実施報告書

項目別評価	評定
教育の取組と成果 (人文社会科学部)	IV
教育の取組と成果 (社会文化システム研究科・ 社会文化創造研究科 (社会文化システムコース))	III
研究の取組と成果	IV
社会貢献の取組と成果	III

評定は以下の4段階から選択願います。

IV 非常に優れている。

III 優れている。

II 相応である。

I 不十分である。

令和 6年 11月 22日

氏名 : 須貝英彦 (自署)

【優れている点】

○評価観点1-4及び1-13について(適切な学生の受入が行われているか、適切な学習成果が得られているか)

人間文化コース、グローバル・スタディーズコース、社会科学3コースのそれぞれで、各APに即した明確な意図を持って、一般選抜の他に学校推薦型選抜I・II及び総合型選抜Iを取捨選択して実施し、入試の多様化が図られている。また、より明確な入学動機を持って入学し、積極的に学習に取り組んだ学生の方がGPA平均が高いことから、入試の多様化と入学後の教育活動が望ましい成果に結びついていると評価できる。

○評価観点1-7(適切な授業形態、学習指導方法が採用されているか)

施設見学の際に見かけたいくつかの授業の様子からも、学生の発表やグループ討議などが積極的に取り入れられており、主体的な学びが実践されていることが窺えた。また、学生の授業改善アンケートで、授業に対する総合的な満足度が極めて高いことから、授業の質保証がなされていると評価できる。

○評価観点2-1について(研究活動が活発に行われているか)

常勤教員当たりの研究業績数、科研費獲得額、科研費獲得件数、受託・共同研究等受入額について、類似した他大学の人文社会学部と比較して、いずれも上位にあることから、研究活動が非常に活発に行われていると評価できる。

【改善を要する点】

○評価観点1－1について（DPが具体的かつ明確に定められているか）

地域公共政策コースのDP1とDP4が全く同じ文言となっている。各コースとも、育てたい資質能力を6項目挙げ、「豊かな人間性と社会性」、「幅広い教養と汎用的技能」、「専門分野の知識と技能」の3つの領域に分類して整理しているわけなので、2つの領域にまたがるような資質能力だとしても、それぞれの領域で特に強調したい点を捉えて、違いがわかるように表現するべきである。

【助言、提言等】

○評価項目1－4について（適切な学生の受入が行われているか）

・各種選抜における選抜方法や一般選抜における個別学力検査の作問については、APに沿って適切になされていると評価しているところだが、今後も、高等学校の担当者との懇談会などを通して得られた意見などを踏まえながら、一層の改善に努めていただければありがたい。

○評価項目3について（地域や社会の発展に資するような活動が行われているか）

・高等学校において探究型学習への取組みが充実してきているが、高校生が設定するテーマによっては、大学教員や学生の専門的な知見やアドバイスが極めて有効な場合があり、そのニーズは今後ますます高まると思われる。より一層の高大連携の充実をお願いしたい。

・それぞれの地域で活性化を牽引するような人材を輩出することが、大学が果たす最大の地域貢献であると考えている。その意味で、今後も山形大学の教育を通して、その意欲と必要とされる資質能力を育成していただくことを期待したい。

評価観点

適合されているかを
○△×ご記入ください。

1. 教育

1	学位授与の方針（DP）が具体的かつ明確に定められているか。	△
2	教育課程の編成・実施の方針（CP）が学位授与の方針（DP）と整合しているか。	○
3	入学者の受入方針（AP）において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示しているか。	○
4	入学者の受入方針（AP）に則して、適切な学生の受入が行われているか。	○
5	実入学者数が入学定員に対して適正な数となっているか。	○
6	教育プログラムを構成する各授業科目の内容は、学位授与の方針（DP）及び教育課程の編成・実施の方針（CP）に則して、体系的かつ相応しい水準にあるか。	○
7	学位授与の方針（DP）及び教育課程の編成・実施の方針（CP）に則して、適切な授業形態、学習指導方法が採用されているか。	○
8	教育課程の編成・実施の方針（CP）に則して、公正かつ厳格な成績評価が行われているか。	○
9	教育プログラムに対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されているか。	○
10	学位授与の方針（DP）に則して、適切な履修指導、支援が行われているか。	○
11	生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われているか。	○
12	学位授与の方針（DP）に則して、公正な卒業（修了）判定が行われているか。	○
13	学位授与の方針（DP）に則して、適切な学習成果が得られているか。	○

2. 研究

1	研究活動の実施状況（例えば、研究出版物、研究発表、特許、その他の成果物の公表状況、国内外の大学・研究機関との共同研究、地域との連携状況、競争的研究資金への応募状況等）から見て、研究活動が活発に行われているか。	○
2	研究活動の質の向上のために研究活動の状況を検証し、問題点等を改善するためのシステムが適切に整備され、機能しているか。	○

3. 地域・社会貢献

1	教育及び研究を通して、地域や社会の発展に資するような活動が行われているか。	○
---	---------------------------------------	---